

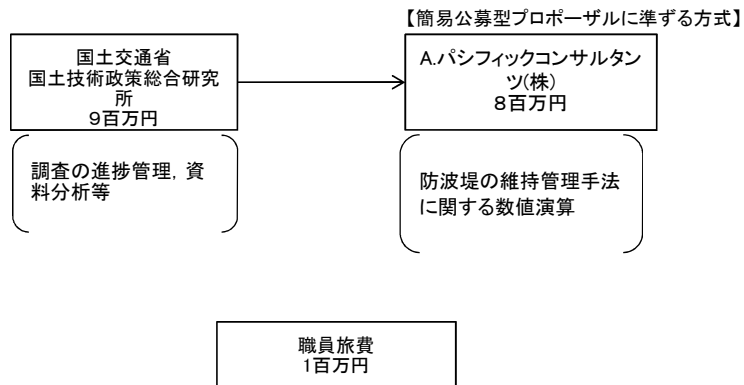
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	作用・性能の経時変化を考慮した社会資本施設の管理水準の在り方に関する研究		<b>担当部局庁</b>	国土技術政策総合研究所(横須賀)		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H21/H24		<b>担当課室</b>	港湾施設研究室		室長 宮田 正史		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	11 ICTの利活用及び技術研究開発の推進 41 技術開発を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	社会資本施設としての港湾施設(防波堤)について、変状(劣化の累積)および当該施設の大規模被災を未然に防止する耐波性能に配慮した上で、補修・補強費と被災時の復旧費の観点から合理的であると考えられる維持管理の方針を立てることができる手法の構築を目指す。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	既設防波堤の点検結果等に基づき、大規模被災を未然に防止する耐波性能に配慮した上で、補修費用と被災時の被害額(復旧費用と間接被害)を最小化する合理的かつ戦略的な防波堤の維持管理方針を検討できる手法の開発を行う。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	9	5	9			
	執行額	9	5	9				
	執行率(%)	100	100	100				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	定量的な成果目標を示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施の成果が現れるのは、事業完了後となるため。			成果実績				
				達成度	%			
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	定量的な活動指標を示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、箇所数、件数、人数等で事業の進捗を表すことができないため。			活動実績 (当初見込み)				-
					( )	( )	( )	( )
<b>単位当たりコスト</b>	単位当たりコストを示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施中において定量的な成果実績や活動実績を示すことができないため。			算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
		-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
必要性	国費投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・外部有識者による評価委員会において「研究の背景を踏まえた研究の必要性」等に関する『事前評価』を受け、国総研が実施すべきという評価を得た上で研究に着手している。		
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
事業の効率性		明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—	・支出先の選定について企画競争により競争性の確保に努めている。 ・支出先(業務請負者)選定の妥当性について第三者機関である技術提案評価審査会により審議していただいている。 ・業務着手時には業務計画書の提出を求めるとともに、打合せや完了時に行う検査により業務の実施状況及び成果を把握している。		
		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○			
		受益者との負担関係は妥当であるか。	—			
		単位当たりコストの水準は妥当か。	—			
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
事業の有効性		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	・外部有識者による評価委員会において「効率性(研究の実施方法、実施体制)」、「有効性(成果の見込みと活用方針)」等の評価項目に関する『事前評価』を受けている。 ・また、事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関し、『事後評価』を受けることとしている。		
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—			
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
重複排除		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	・類似事業はない。		
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
		事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部有識者による評価委員会において、「必要性(研究の背景を踏まえた研究の必要性)」、「効率性(研究の実施方法・体制の妥当性)」、「有効性(研究成果の見込みと成果の活用方針)」に関する『事前評価』を受けた上で研究に着手している。</li> <li>・また、事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関し、外部有識者による『事後評価』を受けることとしている。</li> <li>・支出先の選定について企画競争により競争性の確保に努めている。</li> <li>・支出先(業務請負者)選定の妥当性について第三者機関である技術提案評価審査会により審議していただいている。</li> <li>・業務着手時には業務計画書の提出を求めるとともに、打合せや完了時に行う検査により業務の実施状況及び成果を把握している。</li> </ul>				
外部有識者の所見						
特に意見はありません。本件をレビュー対象として取り上げる理由は、無いように思います。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業本体的改善		昨年度の行政事業レビューにおける所見に基づき廃止する。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
事業本体的改善		平成24年度で廃止。				
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	430	平成23年	422	平成24年	451

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位: 百万  
円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	直接経費・その他原価・一般管理費等	5			
人件費	調査職員	3			
計		8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシフィックコンサルタンツ(株)	防波堤の維持管理手法に関する数値演算	8	1	99.8(%)
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-